前橋市男女共同参画
NewsLetter
ニュースレター
新樹（しんじゅ）
第４１号
No.３
2024.12

小川市長へインタビューをしました！

～市長の考える男女共同参画とは～

今年2月に新市長に就任した小川市長。
小川市長は前橋市の少子化対策や諸課題について、どのように考え、取り組んでいこうとしているのか。市民目線で直接お話を伺ってきました。
（この取材は8月末に行いました）

少子化の中、次世代を担う若者に対する前橋市の婚活や妊活のサポート支援について、どのようにお考えですか。

少子化対策はとても大事だと思っています。その中でも一番重要だと感じているのは、「こどもや家庭を持ちたい」と思えるかどうか。子育てや結婚に対して、世の中の空気が前向きにならないと進まないと考えていまして、前橋市は子育てを応援するという、こども中心の政策に切り替えていこうと思います。こどもの笑顔があふれると、社会全体にも良いことで、みんな前向きになれる原動力になることを共有したいです。そして、みなさんが結婚したいと思えるように、民間のみなさんと連携して縁活などの取り組みをしていきたいと思っています。今はマッチングアプリなどを利用し、結婚する人が増えていると聞きます。出会いも時代に合ったやり方に、変わってきているのだと感じています。

世間では、「親ガチャ」「子育て罰」（※「知ってる？この言葉」参照）などの言葉がありふれていますが、もっと前向きになれる言葉が広がっていくといいなと思います。

妊活については、今までも不妊治療に対する助成制度を行っています。男性も女性も、不妊治療に取り組みたい人が取り組めるような環境をつくっていきたいと思います。

市役所職員の配置について、どのようにお考えでしょうか。

職員をバランスよく配置していく事は、大事だと思っています。現在、男性が多い部署、女性が多い部署と偏りがありますので、今後はバランスを取っていきたいと思います。最近では若い女性の技師さんも増えていて、先日、建設と土木の女性の技術職のランチ会に参加しました。今まで男性しかいなかったところに、女性もいるというように見た目で変わることも大事だと感じています。

管理職も偏っていますが、ベースの職員のバランスが変わらないと管理職も変わらないと思います。色々な部署に職員、管理職が男女問わずいる、という姿に少しずつ近づけていけたらと思っています。

インタビューの様子

前橋市は、女性の議員や幹部職員の数が少ないと思われます。市長が考える男女共同参画社会について、お聞かせください。

市長が女性になり、私が無意識に女性的な考え方をすることがあるかもしれません。市民の方も職員もたくさん声をかけてくれます。みなさん、女性の意見を聴いてみたいという思いがあると感じています。

女性の声をどんどん聴いて、女性の目線でというように、市役所の雰囲気も変わってくるかなと思っています。しかし、あまり行き過ぎてしまうと、男性の方々が意見を聴いてもらえないとなっても良くないので、バランスを取りながら、一人一人が意見を言えるような職場を、つくっていくことを大事にしたいと思います。

災害避難所について　障害を持った方やトランスジェンダーの方など、社会的少数者の方々について、どのようにお考えでしょうか。

私が初めて政治に関わったのが、２０１１年の県議選でした。東日本大震災後、宮城、福島に初めて行き、避難所では女性に対する差別だとか、被害などがあったと聞きました。

非常時にいつもどおりの行動が取れないことは、当然あるかと思いますが、だからこそ日常的に準備しておくことが重要だと考えています。

前橋市では体育館に避難所マップが貼ってあります。

日常的な自治会ごとの避難訓練のとき、障害のある方も無い方も実際参加していただいて動きを確認して、そこで困ったことがあればバージョンアップしていく、という場が必要だと思っています。

大事なことは、実際に避難したとき実行できるかどうかだと思います。障害で会話ができない方や、外国人で日本語が難しい方はコミュニケーションが取れるようなものを、防災危機管理担当で準備しています。

避難所や災害用トイレのことなど、トランスジェンダーの方への対応は、災害時だけではなく、平常時から理解が深まっていくことが、これからの課題だと思っています。

桃井小学校体育館にある避難所マップ

知っている？？この言葉

- **親ガチャ（2021 流行語大賞ノミネート）**
  こどもがどんな親のもとに生まれるかは運任せであり、家庭環境によって人生を左右されること。スマホゲームのガチャに例えたことば
- **子育て罰**
  こどもを持つこと、持たないことで生じる賃金格差と、子育てすること自体が罰を与えるかのような政治、制度、人の意識のこと

【インタビューを終えて】

小川市長は常に市民目線で、丁寧にお答えくださいました。市長の明るく、前向きなお人柄が伝わってきました。

（記事：中山/狩野）